

〈お断り〉  
この地図は、郷土史の初心者が作成したものとしてご参照ください。

《生駒北部の古道》  
〈近世以前、街道は交易の道であり、なにより信仰の道であった。〉



朝日新聞 14(H26).7.5  
生駒北部の古道も紀伊山地の霊場参詣道につながっていた。

京都から淀川を下り枚方へ、そこで上陸して交野へ、そこから奈良・伊勢神宮や三霊場(吉野・大峰、熊野三山、高野山)などへ。  
かいがけの道(交野～傍示の里)  
「中世熊野街道傍示八王子社」との石碑(この道が熊野街道であったことを伝える)

磐船街道  
(枚方から交野を経て私市へ、天野川を遡り、磐船神社・新茶屋を経て天野川沿いの出店へ、そこから富雄川に出て南下、二名にみよの法融寺前の月見橋を東進し、一条通りに至る。なお、大和の清滝街道も磐船街道といふことがある。)

学研高山第2工区  
交通の要衝である中村の里を通る伊勢街道と南山城の道を一休さんの通り路かよひじといふ

清滝街道  
(守口の宿～清滝峠～新茶屋～ここまで河内の清滝街道、ここから大和の清滝街道～出店～お宮の松～暗越くらがごえ街道出会～龍田中河内と奈良を結ぶ奈良街道出会) 龍田より、南原町 王子・五条から出店 紀州を経て熊野へ

吉野・大峰、熊野三山、高野山などへ(記紀にいうイフレヒコのみとが熊野付近に上陸して大和の国を進攻したルートをとどめても熊野に至る。)

近鉄けいはん線 学研北 北大和